

# ハゲを科学する

男は壮年期をすぎると自分の頭髪が気になる

男は壮年期をすぎるとその自分の頭髪が気になってくるものであります。まったく気にならない人もいるにはいますが、そういう人はごくまれです。西洋人の中には思春期から急速に頭髪を失つ人もいるので病氣じゃないかと心配になります。当の本人にとっては余計なお世話でしょう。かつて筆者が新婚旅行でハワイ

にいったときに、どうみても三十才くらいにしかみえないのに、頭の頂上付近だけまるで血をのせたようになっている子供れのカッブルをみかけました。結婚前からあのようなつたのか結婚してからののか、まあそんなことは聞いてみないと分かりません。京都大学理学部で動物行動学を専攻した竹内久美子氏によると、ふつと女はハゲた男を（浮気の相手として）選択することは無いということでした。

続



## サイエンティストの目

森 利明

(もり としあき)

大阪府立大学 先端科学イノベーションセンター



新潮文庫

た（竹内久美子「男と女の進化論」から）。そこまではつきり云われると心臓にグサツとくることもありませんが、まあ黙ってきいておくことにします。

### ハゲの進行にDHTという物質が影響

男が思春期をむかえる頃にヒゲ面になるのはテストステロンという男性ホルモンの働きによるものです。

ある程度年齢をかさねると今度は頭がハゲてくるわけですね。昔から「男性ホルモンが多い男は毛深くてハゲやすい」と云われています。しかしアメリカの皮膚科医・ハミルトンの調査によれば、男性ホルモンがなんらかの形でハゲの進行を手伝っていることは確かだが、男性ホルモンの多い少ないと影響しないというところから、それはどういふことか

と云つと、男性ホルモンとは別のジヒドロテストステロン（DHT）という物質がハゲの進行に影響を与えていることが分かってきたからです。

### DHTは5 リダクターゼの働きで作られる

テストステロンは毛髪を太くする作用がある一方、DHTは皮脂腺と毛乳頭に作用して毛髪が十分に成長することを妨げる作用があります。そのためDHTが薄毛の原因になっていると考えられているのです。DHTは5（アルファ）リダクターゼという酵素によってテストステロンから作られる活性型の男性ホルモンの一種です。それならば5

リダクターゼの働きを阻害してやれば薄毛やハゲを防げるのではないかと、ここで薬が開発されました。しかしせいぜい二十%程度の人にしか育毛効果がみられず、逆に機能障害の副作用が問題になるとのこと。この薬を服用することで精力が減退したり体力が落ちるようなことになれば、ハゲが多少改善したからといっても意味がありません。

### 5 リダクターゼの働きを阻害する物質は

とところで5 リダクターゼの働きを阻害する物質がいくつかあることが知られています。アルコールもその一つです。ということは毎日アルコールを摂取すればこの酵素の働きを抑え、DHTの生成が少なくなるのでハゲを抑制できる？これは酒飲みにとっては朗報かもしれません。そのほか身近なものとしては緑茶やアロエ、みかんの皮などにも5 リダクターゼの働きを阻害する効果があるそうです。

(もり としあき)